

# 巡礼者イニゴ

## 聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

塩谷惠策 SJ

(第六部 イスパニアでの勉学期)

55

### 第十九幕 第三場

1524年1月

ヴェネツィアからジェノヴァへの道すがら (フェララ近郊)

登場人物：巡礼者 イニゴ

(フェララの町びと)

イスパニア軍の兵士 ABCD

フランス軍の兵士 EFGH

フランス軍司令官

【語り】翌日イニゴはジェノヴァに向けて出発しました。途中、フェララ大聖堂で祈っていた時、1人の貧しい人がイニゴに施しを乞いました。イニゴが1マルケットを施すと、間もなく一人もう一人と施しを求める人が来たので、ジュリオ金貨だけが残り、イニゴはそれを施しました。イニゴが気前よく施すことを知った貧しい人びとがそろってやって來たので、最後の一枚までジュリオを施してしまいました。再び一文無しになったイニゴは 身も心も懐(ふところ)も軽やかにジェノヴァへの旅をつづけ、フランス軍とスペイン軍の対峙する戦場へと入っていました。そしてイスパニアの兵士達がたむろしているところに差し掛かると・・・

イスパニア軍の兵士 A：おい、あんたどこへ行くんだ？

イスパニア軍の兵士 B：ここは鉄砲玉がぎょうさん飛んでくる戦場なんやで。  
1人でノコノコ歩いたらあかん。危ないで！

イニゴ： 久しぶりでイスパニア語を聞いた。懐かしいなア。

イスパニア兵士A：あんた、イスパニヨルか？こんなところで何してるんだ？  
イニゴ： ジェノヴァに行きたいんです。この道が一番近いでしょう？

兵士C： 近いことは近いが、危ないぜ！あの大筒の音が聞こえんのか？

イニゴ： 聞こえます。大砲の玉だけは苦手なんです。昔大けがしてね！！

兵士D：やっぱりお前さん、戦争したことあるんだね？大した度胸だと思った  
ヨ。

いくさ

イニゴ： 戦をしたことはあるが、もう止めたんだ。

兵士A： そいつは惜しかったな・・・。まあいいや。もう暗くなってきた。  
今夜は俺たちのとこに泊まっていきな。

兵士C： もっと焚火のそばに来いよ。

兵士B： これほんまに美味しいで。遠慮せんと食べエな。

イニゴ： ありがとうございます。おお 温かい。

(翌朝)

イニゴ：お世話になりました。有難う。では出かけます。

兵士A：気を付けてな。この広い道は、皇帝軍とフランス軍の真ん中を通ってい  
て危ないから、国道は避けることだな。あの丘の左側のほうが安全だか  
ら、あっちを通って行きな。

イニゴ： ありがとうございます。ご親切に感謝します。

兵士たち： Adios。用心して行くんだぜ。

## 第十九幕 第四場

フランス軍の宿营地

【語り】異郷の地にあって親切なもてなしを受けたイニゴは、感謝の心をもつて道を続けますが、依然として危険な国道のほうを進んでいきます。

イニゴ：やはり同国の人にはいいなあ。みんな親切に安全な道を勧めてくれたけど、私は神への信頼をこそ大事にしたい。

【黒い使いの合唱】イニゴよイニゴ 意地っ張り 神の情けも限りあり  
甘えてばかりじゃ 神様の 堪忍袋の 緒も切れよう

イニゴ：神が必ず護ってくださるに違いない。この道を行こう。

【語り】その日の夕方、夜のとばりが下りるころ、イニゴはまだ人里離れた（と思っていた）寂しい道を早足で歩いていました。

イニゴ：あたりが暗くなってきた。今夜泊まるところを早く見つけなければ。  
遠くにも近くにも人家の灯かりがちっとも見えないなあ。

(目を凝らして見る)

おや、これは家ではないか？あそこにも、こっちにも家が建っているが、  
人が住んでいないんだ。そういえば、どの家もみんな戸がなかったり、  
半分焼け落ちたりしている。村人たちちは皆焼け出されてどこかに避難  
しているのだろう……。 今夜泊まれるところがあるかなあ？

(一軒の家の前で立ち止まり、腰をかがめて中を覗いてみる。その時)

フランス軍兵士E： ○○ ○○○○ ○○○ ○○○ ○○？

イニゴ：わあ、びっくりした。何事ですか？

フランス軍兵士E：○○○ ○○○ ○○？

イニゴ：何言ってるのかさっぱりわからん。なんの用ですか？

フランス軍兵士E：今のはスペイン語だな？（たどたどしいスペイン語で）お前  
はエスパニャ軍のスパイじゃないのか？

（振り向いて、大声で）

おーい、だれかスペイン語ができる奴いないか？

（しばらくして2,3人のフランス兵が現れる。そのうちの一人がいう。）

フランス軍兵士F：俺少しわかるけど、いったい何があったんだ？

兵士E：怪しいスペイン人を見つけたんだ。こいつがさっきからこの家を窺っ  
てるんだ。スパイじゃないのか？

フランス軍兵士G（小隊長）：確かに怪しい。徹底的に調べろ。敵軍あての手紙  
なんか持ってるかもしだ。

【語り】イニゴは左右から両手を取られ、手荒に小屋へと引いて行かれました。  
イニゴの運命やいかに？